

# 白内障手術「極小切開法」(MICS)の時代へ

僅か2ミリの切開創で最大の成果



最新の高品質眼内レンズ  
わずか2ミリの切開創から  
小さく折れたんで、挿入  
可能で柔軟な高品質の  
眼内レンズが開発されて  
います。

Q「白内障」とは、どのような病気なのですか？

A白内障は、水晶体(カメラのレンズに相当する部分)が濁ってしまい、眼がかすんだり、ぼやけて見えにくくなる病気です。眼の疲れや二重視、まぶしさなどを伴う場合もあります。白内障の原因の大半は、白髪やシワと同様に加齢現象であるため、薬を用いても何をしても根治することはできず、少し進行を遅らせる程度の効果しか望めません。このため、高齢化社会の現在、特に急増し、高齢者の視覚障害の第一位を占めています。

Q最新の「極小切開法」(MICS)という手術法は、どのように白内障を根治するのですか？

A最新の手術法として、わずか2ミリ程の創口から、白内障を超音波で細かく分解して吸引除去する方法が目薬のように優しい局部麻酔のみで、ごく短時間の内に行われるようになりました。同時にその小さな創口から、柔軟な高品質の眼内レンズを小さく折れたんで、眼内に挿入し、眼の中で開いて固定するという画期的な手術法が開発されています。これは、「極小切開法(MICS)」と呼ばれる世界的にも優れた手術法です。「極小切開法」に利用される高品質の眼内レンズは、「ソフトアクリル」という柔軟な素材を生かして、非常に小さな切開創から挿入できる優れた機能を持っています。この為、白内障がまだ軟らかい適切な時期に手術を行えば、術中の痛みも無く、視力の回復も顕著で、「眼科医療の中で最大の成果」とされています。

ワンポイント  
アドバイス

村上茂樹先生の

## 眼のはなし



緑内障との同時手術も可能に！

Q「極小切開法」(MICS)での白内障手術は、「緑内障」や「糖尿病網膜症」など眼の余病を合併している場合も可能ですか？

A「極小切開法」は、眼に優しい手術法で術後の炎症も少ないため、緑内障を合併している場合も、手術が可能で、さらに、緑内障進行を抑えるための緑内障手術も、「極小切開法」では白内障手術の創口を利用して同時に手術(併施)することが可能になりました。また、糖尿病がある方も、血糖コントロールが概ね良好であれば、「極小切開法」での白内障手術は可能で、術後の炎症も少ないため、糖尿病網膜症の治療もより効果的に行えます。

しかし、この様な最新の医療の恩恵にあずかるためには、何と言っても早期発見と早期治療が大切です。このため、眼が見えなくなり、難治の状態に陥るまでいたずらに自己判断で放置せず、眼のかすみや視力低下に気づいたら、眼科専門医を受診し、白内障の状態や他の余病の有無について診察を受けることが賢明です。

むらかみ眼科クリニック院長(順天堂大学客員准教授)

〒土市南段原町一―一六  
00694(22)9900  
ホームページ <http://www.murakami-ganka.com>

「極小切開法白内障手術」  
極めて小さな切開創へ(従来の約6分の1)

従来の切開創  
約12mm



最新の切開創  
約2mm

